



第8章 第8章 活用

基本方針：諸要素を活かした、姫路城ならではの体験ができる歴史文化的空間の醸成

姫路城を保存継承していくためには、姫路城の本質的価値を、姫路市民だけでなく、すべての人々と共有していくことが必要となる。姫路城の「活用」とは、本質的価値を正しく伝え、往時の姿やその歴史性を包含する姫路城の価値、魅力を高めることで、現代の知識と歴史上の知恵が交錯する、姫路城ならではの体験ができる歴史文化的空間を醸成することである。

そのため、姫路城の本質的価値を構成する諸要素などの適切な公開や、姫路城に関する教育・学習支援機能の充実と共に、姫路城に対する愛着心の醸成やその価値を高めるための様々な取り組みを持続可能な形で実施し、姫路城のある歴史文化的空間の魅力向上を図る。また、世界遺産として、地域の核として、我が国を代表する資産として、世界に向けて広く情報を発信するとともに、姫路城において何が必要とされ、何が求められているのかをモニタリングの実施などを通じて、丁寧な拾い出しを行い、活用を進める。

第1節 活用の方向性

1. 姫路城の構成要素を適切に公開し、往時の姿を伝える

姫路城の構成要素は多岐にわたるが、往時の姿を多くの人と共有するため、特に国宝・重要文化財建造物（国指定建造物）や石垣など、近世に形成された諸要素などを適切に公開し、本来の姫路城の姿を体験できる歴史文化的空間を醸成する。

2. 姫路城の本質的価値や歴史の変遷をわかりやすく、広く伝える

姫路城の持つ魅力や歴史などをわかりやすく、広く伝えることを第一に、その本質的価値や歴史の変遷を知り、学び、体験することができる機会を提供することにより、多くの人が共感し、主体的に考え、創造する循環を生み出すことのできる歴史文化的空間を醸成する。

3. 姫路城の価値や魅力を継承・醸成する取り組みを実施する

姫路城を眺め、同じ空間を共有し、姫路城について知り、学び、考えることは、姫路城を将来に引き継ぐためには欠かせない。姫路城の継承を持続可能なものとするため、その価値の理解はもとより、魅力を共有し、市民意識の醸成と共に、児童、生徒らが地域にある文化財も含めて愛着を持てるよう、多くの人が参加できる取り組みを通じて、次世代を担う子ども達に継承すべき歴史文化的空間を醸成していく。